

CASBEE®名古屋

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE 建築環境総合性能評価システムマニュアル2016 ■使用評価ソフト: CASBEE_Nagoya_2016(v1.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	グランザ茶屋が坂 新築工事	階数	地上7F
建設地	名古屋市中区茶屋が坂一丁目104番、107番	構造	RC造
用途地域	近隣商業地域、第二種住居地域、準防火地域	平均居住人員	150 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	基本設計段階評価
竣工年	2026年2月 予定	評価の実施日	2024年9月20日
敷地面積	1,399 m ²	作成者	
建築面積	489 m ²	確認日	2024年9月20日
延床面積	2,065 m ²	確認者	
2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)		2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	
BEE = 0.9 ★★★★★		標準計算	
S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★		①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+オフサイト手法	
環境品質 Q		92 (kg-CO ₂ /年・m ²)	
環境負荷 L		このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO ₂ 排出量の目安で示したものです	
2-3 大項目の評価(レーダーチャート)		Q2 サービス性能	
2-4 中項目の評価(バーチャート)		Q1 室内環境	
Q 環境品質		Q2 サービス性能	
Q1 室内環境		Q3 室外環境(敷地内)	
Q1のスコア= 2.7		Q2のスコア= 2.9	
Q2 サービス性能		Q3のスコア= 2.5	
Q3 室外環境(敷地内)		LR 環境負荷低減性	
LR1 エネルギー		LR2 資源・マテリアル	
LR1のスコア= 3.8		LR3 敷地外環境	
LR2 資源・マテリアル		LR3のスコア= 2.6	
LR3 敷地外環境		3 設計上の配慮事項	
総合		その他	
建設地の良好な住環境を保持しつつ、省エネ、防犯性能を確保した住宅の供給を目指す。		リサイクル製品の積極的な採用、廃棄物の削減	
Q1 室内環境		Q2 サービス性能	
共同住宅における騒音環境に配慮		Q3 室外環境(敷地内)	
Q2 サービス性能		LR1 エネルギー	
部屋・収納の広さの充実、		LR2 資源・マテリアル	
LR1 エネルギー		LR3 敷地外環境	
断熱等級4程度		自転車置場を戸数の2倍設置	
LR2 資源・マテリアル		節水型便器他	
LR3 敷地外環境			

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

重点項目スコア・結果シート

グランザ茶屋が坂 新築工事

■使用評価マニュアル:

CASBEE-建築(新築)2016年版、名古屋市建築物環境配慮制度運用マニュアル

■評価ソフト:

CASBEE_Nagoya_2016(v1.0)

重点項目		評価	全体に対する重み係数	重点項目スコア
1. 温暖化対策				3.5
LR1	エネルギー	3.8	0.4	
LR3.1	地球温暖化への配慮	3.2	0.1	
LR3.2.2	温熱環境悪化の改善	2.0	0.05	
2. 自然共生				1.9
Q3.1	生物環境の保全と創出	2.0	0.09	
Q3.3.1	地域性への配慮、快適性の向上	無	0.009	
Q3.2	地域性のある材料の使用※1 まちなみ・景観への配慮			
Q3.3.2	敷地内温熱環境の向上	2.0	0.045	
3. 循環型社会				3.0
LR2.1	水資源保護	3.0	0.06	
LR2.2	非再生性資源の使用量削減	3.0	0.18	
LR3.2.3	地域インフラへの負荷抑制 ※2	2.7	0.01875	

結果

1. 温暖化対策

評価点 = 3.5



2. 自然共生

評価点 = 1.9



3. 循環型社会

評価点 = 3.0



重点項目のスコアは以下のように算出している。

$$\text{重点項目スコア} = \frac{(\text{評価点} \times \text{全体に対する重み}) \text{の総和}}{\text{全体に対する重みの総和}}$$

※1 ここでは、Q3. 3. 1の評価する取組みのうち評価項目 1 2) 地域性のある材料の使用 又は、Q3. 2において評価する取組みのうち評価項目 4) 地域性のある素材による良好な景観形成 のいずれかでポイントがある場合は「有」、ない場合は「無」を評価とした。重点項目スコアの算出における評価点は評価「有」の場合は5、「無」の場合は1とし、重みはQ3. 3. 1の全体に対する重みに0. 2を乗じたものとしている。

※2 ここでは、LR3. 2. 3のうち、LR3. 2. 3. 3 交通負荷抑制 を除いたもので評価点及び全体に対する重み係数を算出している。したがって、ここでの評価点はスコアシートにおけるLR3. 2. 3の評価点とは異なるものである。